

【1回目登壇】

こんにちは。日本維新の会の辻信行でございます。

第14回定例会におきまして、質問の機会をいただきありがとうございます。先輩、同僚議員の皆さまにおかれましては、しばらくの間、ご清聴のほど、よろしくお願いいたします。

早速ですが、質問に入らせていただきます。

まずは、市報あまがさきについてお伺いします。

市報あまがさきは、毎月市民の皆様にご貴重な情報を発信し多くの方に喜ばれています。

4月号からは、多言語表示サービス QR トランスレーターや市報あまがさき電子版を発行していただき、外国人の方も尼崎市の情報を知る機会をいただき、大変喜ばれています。

いっぽう、兵庫県にも県民だよりがあり、県の情報を発信していただいています。

その、県民だよりには、むずかしい言葉や聞きなれない言葉に用語解説や用語説明があります。

例えば、一般会計・特別会計・公営企業会計の説明やヤングケアラーやインクルーシブ教育の解説とか丁寧に載せていただいています。

市民の皆様からの要望でもありますが、お伺いいたします。

市報あまがさきに、用語解説や用語説明を載せて頂きたいと思いますが、お考えをお聞かせください。

また、市報あまがさき電子版のように、QR トランスレーターを利用して、用語解説のページを作成できないでしょうか。教えてください。

ひょうご県議会だよりには、各議員の一般質問の用語解説も載せています。本市の議会だよりにも用語解説を載せていただきたいのですが、議会だよりは、編集委員会で決める事だそうなので、次の議会だより編集委員会で会派の意見として取り上げさせていただきたいと思います。

次に、夜間照明設備のある小学校の利用料についてお伺いいたします。

小学校運動場の夜間照明を利用して練習をしている、少年野球や少年サッカーチームの方から1日500円の利用者負担金をいただいています。が、小学校の体育館の夜間照明設備を利用して空手や剣道の方からは、利用者負担金をいただいません。

子どもが利用した、夜間照明設備利用者負担金、令和2年度の年間累計、約1,000,000円、令和3年度が、約1,200,000円、令和4年度は、約1,500,000円です。

子どもの利用者負担金は、年々増加していますが、大人の利用者負担金は、毎年100,000円以下です。利用者の90%以上は、子どもです。

いっぽう、夜間照明修繕費は、令和2年から4年度の3年間で、約1,000,000円です。

少年野球チームや少年サッカーチームの代表や監督・コーチ・育友会の皆様は、子ども達のために、昼夜を問わず無報酬でお世話をいただいています。

そこで、伺いたいします。

地区によって異なりますが、年々増加している夜間照明設備利用者負担金ですが、要因をお聞かせください。

子どもが利用する、夜間の照明設備です、運動場の夜間照明利用者負担金も、なしにできないでしょうか。お考えをお聞かせください。

次に、ギャンブル依存症対策についてお伺いします。

大阪府と兵庫県には、「ギャンブル等依存症対策推進計画」があります。ギャンブル依存症は、誰もが落ちる可能性のある精神疾患であることを認識し、ギャンブル依存症である方やその家族が安心して相談し、治療を受け、そして、社会に復帰することが出来るようにしていかなければならない。そのためには、国・府・県・市町村の医療関係・自助グループをはじめとする民間団体等の関係を強化する必要があるとあります。

本市には、競艇・地方競馬があり、パチンコ店多くあります。2029年秋頃の予定で、大阪に総合型リゾート(IR)も開業いたします。

今後、兵庫県の「ギャンブル等依存症対策推進計画」にそって対策を考
えていくのか、それとも本市独自の、ギャンブル依存症対策についての、
お考えがあるのかお聞かせください。

今後、本市独自のギャンブル等依存症対策基本条例を制定するお考え
があるかお聞かせください。

【2回目登壇】

次に、学校給食についてお伺いします。

学校で楽しく食べていた給食も、3年前からのコロナ禍で様変わりを行いました。給食の際に会話をひかえる「黙食」を指導していただき、机もグループごとに並び替えず前を向いたまま食べ、感染予防でなかなかおかわりも出来なくなり、食材もだいぶロスをしたと聞いています。そこで、お伺いいたします。

現在の、学校給食時の様子は、以前のように楽しい時間に戻ったかお聞かせください。

2022年1月から中学校給食がスタートし、初日には、尼崎市のお米を使用した給食で、地産地消をしていただきました。

去年の1月以降、小学校・中学校の給食で地産地消を行った食材を教えてください。

次に、阪急園田駅北側広場についてお伺いいたします。

現在、阪急園田駅北側の整備が進められていますが、地元の方々や町会の皆様、地域団体、そして、商店組合の意見をしっかりと聞いていただき、地域の皆様が集まる賑わいのある駅前空間を期待しています。今年の秋頃に阪急園田駅も、リニューアルオープンいたします。駅前広場も一緒にお披露目が出来ればと思います。

そこで、お伺いいたします。

今年度中には、フェンスもとれて広場になると聞いていますが、具体的に何月になりますか。教えてください。

また、駅前に道路が繋がるのは、いつ頃の予定か具体的にお聞かせください。

独居老人サービスについてお伺いします。

本市においても、65歳以上の一人暮らしの人数も、年々上昇しています。内閣府の調査によると、2016年時点で65歳以上の人がある世帯(一人暮らし世帯を含む)は、全世帯の48.4%と約半数に及んでいます。さらに、そのうち27.1%は一人暮らし世帯です。コロナ禍で、近所づきあいや地域のイベントなくなりました。また、核家族化が進んだ昨今、結婚した子どもが親と住むのは当たり前ではなくなりました。そこで、お伺いいたします。

今、尼崎市に、独居老人は、把握しているだけで何名いるか。教えてください。

そして、何名が、尼崎市在宅高齢者等あんしん通報システムを利用して
いますかお聞かせください。

最後に、新型コロナウイルス感染症は、3年を越える長きにわたり市民の皆様を脅かし、日常生活にも大きな影響を与えてきました。そうした中、今年の5月からは、新型コロナウイルス感染症法上の位置づけを2類から5類とし、新型コロナウイルス感染症の対応は、大きく変わってまいります。早くコロナ禍前の日常生活を取り戻してほしいと願います。しかし、新型コロナウイルス感染症は、決して無くなったものではありません。ウイズコロナやアフターコロナの対応を市民の皆様と一緒に考え取り組んでまいりたいと思います。危険を顧みず働いていただいた医療従事者の皆様を始め、対応にあたられていました多くの方々に、心から感謝を申し上げます。